

おれんじの屋根

施設長より

「林田英治さんの早すぎる死を悼む」



しょうぶの里入所利用者の林田英治さんが、去る9月14日(本)午後0時43分に入院先の国立医療センターで永眠されました。

英治さんは、前日の13日朝、朝食前の7時過ぎに、職員の前で意識がなくなり、直ちに救急車で国立医療センターに搬送されましたが、冠動脈の急性心筋梗塞で危険な状態が続き、翌日に亡くなりました。

16日(土)の葬儀には、多くの利用者も参列し、英治さんのお別れを惜しまれました。

享年44歳。まだこれからの人生があったはずの突然の死去でした。林田さんの早すぎる死を悼むとともに、心より冥福をお祈りいたします。

私は、英治さんが特別支援学校の高等部1年生のときに、副担任として1年間クラスに入っていた(その後、別の学校に転勤)。4月にしょうぶの里に来たときは、20数年ぶりの再会でしたが、私のことを覚えてくれていました。優しい性格で、学校時代も他の人を気遣うことがよくありました。校内の小さな合宿所で男子生徒だけで一緒に泊まったことも今となっては懐かしい思い出となってしまいました。

言うまでもなく、私たち職員は、利用者さんの健康や安全を守ることが仕事です。自分の体の不調を訴えたりきちんと説明したりすることが苦手だったりできない人もたくさんいらっしゃいます。そうである以上、職員が日頃からの観察や関わりを通して、ちょっとした変調も見逃さず、適確な対応をしていくことが求められます。

今回の件では、これまで心臓の不調や本人からの訴えは特になく、突然のことでした。しかし、職員は、英治さんに何らかの体の変調を感じ取り、夜中に熱を計り、朝も部屋で付き添っていました。結果として助けることはできなかったものの、意識を失ったあと、直ちに一人が大声で呼びかけ、一人が心臓マッサージを行い、駆けつけた別の職員が救急車要請やAEDを試みるなどの救命措置がなされました。私も、その場にいましたが、対応は適確だったと思っています。

しょうぶの里が開設して17年目を迎え、利用者さんの年齢や高齢化が現実的な課題となりつつある昨今、今後も突然の事態が出てくるのが想定されます。定期的な健康診断や通院・治療、日常の健康管理の徹底、職員の日配りや気配り、ちょっとした変調も見逃さない観察力と、不測の事態の際には迅速で適確な対応ができる対応能力を高めていくことが重要であり、そのための不断の努力を重ねなければならぬと、思いを新たにしたいところです。



とびっきりの笑顔

ありがとうございました

最高の笑顔

育成会九州大会(佐賀)に参加して(8/26~8/27)

初めての大会参加に少し緊張して臨みましたが、全くの杞憂だったと教えてくれたのが、本人さんの笑顔でした。

皆さん、大会に参加するのが楽しみだとそれぞれに会場に向かう道中に話され、また、初めて参加する自分にも親切に自己紹介されたり、話しかけて来られて、「これが育成会大会の醍醐味なのだ」と思い、自分の中で、大会参加を会員の方と一緒に楽しもうと思うようになりました。

そして、大会の第4分科会(本人部会)が始まると、本人さんたちの普段は見せないような対応力や、自己表現など、支援者の自分が目を丸くするようなすばらしい一面を知ることができました。

これまで自分の中にあったモノが融解して、一気に可能性が広がる感覚を嬉しく思いながら、分科会を見守り、一つ一つに驚嘆し思わず声をかけていました。

確かに支援員としての資質を高めるための教養や知識の向上は必要ですが、このような形での「利用者の方と一緒に向上する」という経験は、利用者に対する個々の理解を深める大変すばらしい機会であると思います。

この大会での経験を活かし、より良いサービスの提供ができるように心がけていきたいと思っております。

支援員 霍本耕史

そうめん流し

しょうぶの里 恒例の“そうめん流し”が8月23日(水)に行われました!竹を接いで全長6m程のそうめん流しの台ができました。立って食べるのが難しい人のために、テーブル席にもミニそうめん流しの竹が設置されました。

今年も趣向を凝らし、そうめんの他に、ミニトマト、巨峰、バナナ、マッシュマロ、マーブルチョコ、ミニゼリー、チョコボール等が流れてきました。「わあー、〇〇が流れてきたあー!!」と大賑わいでした。



第二部は、育成会学校部会の方が8家族来られ、楽しませていただきました。毎年、楽しみにされていると聞き、とても嬉しく思いました。来年もまた来てくださいね!



職員紹介



私は志賀です。が!!
利用者の皆さんは旧姓の
“大場”と呼ばれます(笑)
どちらでも構いません(笑)
私がおすすめる
しょうぶの里のポイントは、
皆さんが造り出す
アート作品です!
ぜひ見に来てください!!
支援員 志賀 竜平



利用者の方々の
やる気と
元気の出る
活動をして
いきたいです!

支援員 村上 理優子



しょうぶの里に勤務して
10年目になりました。
利用者の方も私も年を
重ね、少しずつ体の
衰えも見られる方も
増えました。

私自身も含め、皆さん
の体力維持に心がけ、
日々、健康でありたいと願って
います。
支援員 佐藤

給食室より

☆9月のイベントメニュー☆

- 9月1日 防災の日 非常食メニュー
五目ご飯 やきとり缶
7かまごんの479" ミックスフルーツ缶 麩のみそ汁
- 9月5日 誕生会
- 9月6日 リクエストメニュー
カツカレー 豆腐とごぼうのサラダ
ゴーヤ佃煮 ラッシー
- 9月12日 手作りおやつ) スイートポテトケーキ
- 9月25日 リクエストメニュー(内容は検討中です)

《非常食メニュー》

防災の日では、しょうぶの里に備蓄してある乾物や缶詰を使って、非常食メニューを提供しました。使い捨ての食器や箸、スプーンを使用しましたが、皆さん、上手に食べる事ができました。

“備えあれば憂いなし!”

来年も挑戦したいと思います。 管理栄養士 米村

医務室より

9月9日は救急の日です

しょうぶの里では毎年9月に職員研修で、全職員を2班に分けて救急蘇生法講習会を実施しています。講師は熊本市西消防署小島出張所の救急隊の方、6~7名です。

研修の内容は・・・

- ☆救急蘇生法の実技
- ☆AEDの使用法
- ☆119番通報

以上のことを学び、いつでも緊急時には対応できるようにしたいと思っています。 看護師 田中



119番に通報
してください!
AEDを持って来て
ください!



9月のお誕生日

濱崎 文明さん (18日)

本田 博敬さん (26日)

～編集後記～

・・・ありがとう 英治さん・・・
突然のお別れでした。
いつも朝から「よ～よ!」と声かけてくれてました。帰る時には「ぼちぼち帰る?」と聞いてくれてました。楽しそうな笑い声、とびっきりの笑顔。
いつも癒されてました。寂しくなります。これからは空の上から、しょうぶの里のことを見守っていてください。ね。
今までありがとうございます。
安らかに眠りください。 合掌

～第5号～

平成29年9月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588